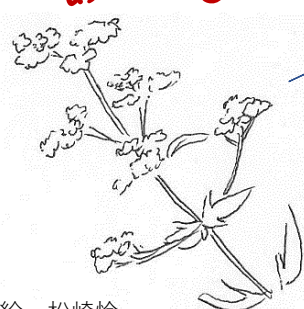


ごあいさつ

登場人物すべてが、明野子ども美術館のお庭にあります。かしわの木・苔・おみなえし・蚊（火山弾以外）

明野子ども美術館の賢治祭は、手仕事講座に参加する子どもたちのイメージをまとめて観客参加型劇に仕立て上演しています。朗読やお話のお料理や登場人物の動くおもちゃを作ったり、火山や登場人物のことを学んでいるうちに、このお話には、地球上の普通にあるすべてを盛り込もうとしているのかと思うようになりました。地球が生まれて46億年。火山・岩石・植物・昆虫・お日様・霧、そして人間が作ってきた文化。

気のいい火山弾 あらすじ



絵 松崎怜

ある死火山のすそ野。

ほとんどの石は稜がとがっていましたが、ひとつだけ卵の両はじを、少しひらたくのぼしたような形の黒くて大きな石があって、稜のある石どもは、ベゴ石とあだなをつけて、退くつな日は、ベゴ石をからかって遊びました。

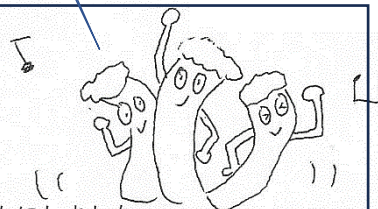
でもベゴ石は、一ぺんも怒ったことがないのです。

野原のみんな（かしわの木・苔・おみなえし・蚊）はベゴ石をばかにしました。

稜のある石どもまであざけり始めた時、火山弾の調査にきた研究者たちがベゴ石を見つけ、「こんな立派な火山弾は、大英博物館にだってない」と大喜び、「東京帝国大学地質学教室行」と書いた大きな札をつけ、野原のものたちを残して、ベゴ石だけを持ち帰るのです。

ベゴ石が野原のみんなに残した言葉は、

「みなさん。ながながお世話でした。私の行くところは、このように明るい楽しいところではありません。けれども、私共は、みんな、自分でできることをしなければなりません。さよなら。」



朗読会での子どもたちのとらえ方は「馬鹿にされていたけれど、偉くなった」とか「みかえした」などのマイナスの感想では無く、ベゴ石が社会的権威をえたことに惑わされず「ベゴ石がつれられてかわいそうだった」など、ベゴ石の心によりそい言葉をそのまま受け入れるものでした。

今年もへんり未来さんが楽しくすてきな曲を、岩=Rock つなかりで作曲、ヒロコダンススタジオの柳宏子さんが振り付けを作ってくださいました。歌ったり踊ったり、コロナ前に少しずつもどって、楽しみたいと思います。 ♪ロックンロール！

明野子ども美術館 代表 松崎春子

運営委員会より

昨年度も会員の皆様のカンパとご協力で充実した活動を行うことができました。

今後とも明野子ども美術館の活動をご理解いただき、カンパと会員継続をお願いいたします。

<明野子ども美術館の賢治祭>音楽CDも好評発売中！2000円です。あわせてお申込みください。そのうち15%は東日本震災支援活動に使わせていただきます。 明野子ども美術館運営委員会一同

カンパと会費 振り込み郵便口座

ゆうちょ銀行からは 00210-4-027186 アケノコドモビジュツカン

ゆうちょ銀行以外からは ゆうちょ銀行〇二九店当座0027186 アケノコドモビジュツカン

第25回 明野子ども美術館の賢治祭

2024年 1月21日(日) 会場 須玉ふれあい館 展示室

参加費 子ども 無料 おとな300円 定員 50人

第一部 14:00~14:30 賢治童話のたのしいお話し

お席を用意しますので予約をお願いします

ミニ講演 <石の目で見たこの世界—「気のいい火山弾」からの報告>

横山英行さん「宮澤賢治が聴いたクラシック」編集者・宮澤賢治研究家

第二部 14:40~16:00 観客参加型劇 宮澤賢治作 <気のいい火山弾> 衣装をつけてお話の世界へ

出演 朗読 永田京子さん 歌 野呂瀬加奈さん ほかに
溝口朗読サークル代表 ボイストレーナー

子どももおとなもたのしめる！！！！

リストランテ アルポルト シェフ
友國稔行さんプロデュースの

<気のいい火山弾>にちなんだ

おいしい おかしのおみやげがあります。

帽子デザイナー河原雅子さん制作の

おしゃれな衣装を
きてみよう

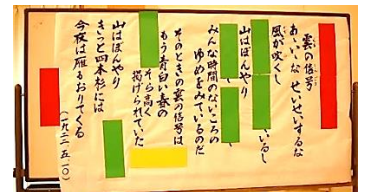
2023 年 前期活動報告 「かたりあい」を大切に

5・20（土）おはなしを楽しもう 宮沢賢治作＜気のいい火山弾＞10:00～12:30

講師 溝口朗読サークル代表永田京子さん 解説 岡野裕壽さんほか 会場 須玉ふれあい館展示室

お話しがすごくおもしろかったです。火山のことがよくしれてよかった。（5年）
永田先生の声が、すごいごこちがよかったです！！（5年）

—感想から



「気のいい火山弾」は子どもたちに読んでほしい大事なテーマを含んでいます。少し悲しいお話であったため、参加する子どもたちの心情を考慮して、情景が似ていて、明るくさわやかな5月をテーマにした詩「雲の信号」の朗読と、詩の冒頭「あゝいゝな せいせいするな」の朗読指導をしていただきました。どんな時にそんな気持ちになるか、一人ひとりが自分の生活をふりかえって発表し、詩の前半を朗読。

「気のいい火山弾」は火山・岩石・地学など、なじみのないものが多かったため、元理科教諭 岡野裕壽さんに解説をおねがいしました。

登場するものの実物や、動くおもちゃ（紐を引くとおみなえしが咲いたり、火山弾が手をあげるおもちゃ）を作って展示（岡島千代子さん他制作）。触れて遊んでわかるようにしました。イラスト（松崎怜さん制作）も大活躍。



6・17（土）緑を描こう—自然のなかからお話をみつけよう 10:30～13:00 明野子ども美術館にて

講師 宮澤賢治童話を描く 絵本画家 田原 田鶴子さん



ご自身の絵本や原画を見せながら、優しくお話をしてくださいました。

暖かい語り口調に
どんどんひきこまれていきました。



「賢治さんは、自然の中からお話をみつける天才です。

お話が生まれた岩手県は北の方で、大自然が豊かなところです。

私も岩手県の盛岡市で生まれたので、賢治さんが見てきた山とか川や星空を見てきたので、賢治さんのお話を読むとそういう景色が自分の中で見えてくる。だからそういう自然のお話から見えてくるものを描いています。山梨も岩手県と似ているので、あの時のことかなとか、野原のことかなとかきっとわかるとおもうので、ぜひ賢治さんのお話を読んでください。私の絵を見てもらいながら、賢治さんが自然の中からどんなお話をみつけてきたのか見てもらいたいと思います。

みんなだったらどうですか。こうだったらいいな、とか、こういうこともあるんじゃないかと、アイデアを考えてみましょう。」

田原田鶴子さんのお話や絵にひきこまれて、すっかり満足してしまいましたが、自分でも描きたいという気もわきおこって、それぞれ描きたいものを探しました。

一人ひとりにていねいに向き合ってアドバイスしてくださいました。



明野子ども美術館の賢治祭講師の横山英行さんも参加。合評会でも子どもたちを応援してくださいました。作品も、それぞれが自分でつけた題名も、自然を描く中で、自分なりのお話を感じ取っていたことがよくわかる思いのこもったものでした。
田原田鶴子さん、ありがとうございました。

8・1 (火) 料理をつくろう 10:30～13:00 明野総合会館調理実習室にて

講師 リストランテ アルポルト シェフ 友国稔行さん

今年もすてきなイタリア語を教えてくださいました。

イタリア料理は「グッチーナ フェリーチェ しあわせ料理」

物語<気のいい火山弾>に ちなんだ シェフ考案のお料理

リーフサラダと黄色いフリッタータ“おみなえし”に見立てて 黄色く咲く野原の“おみなえし”

Frittata giallo con misticanza

パスタ ヴェズーヴィオ風

ポンペイを埋没させた、ナポリ南東の火山“ヴェズーヴィオ”

Pasta alla Vesuvio

豚肩ロースとカシワの塩釜焼き ベゴ石のオマージュ カシワと、“ベゴ石(火山弾)”と、苔

Maiare all'erbe “KASIWA” in costa di sale

黒ゴマのビスコッティー レジーナ “稜のあるあまり大きくない石ども”

Biscotti REGINA al nero



塩釜焼はグッチーナ リッカ (贅沢料理)



黒ゴマのビスコッティー レジーナ

“稜のあるあまり大きくない石ども”は時間の関係で運営委員の蟹澤香代子さん制作です。



黒い大きな火山弾

カシワの葉でくるんだ

豚肩ロースの塩釜焼きを

切ったところ

なんておいしい!



講師によるしあげ

新型コロナウイルス感染防止対策として講師・司会・発言者にマイクを使用しました。看護師友国恵美子さんの協力があり安心でした。

感想から

- ・パスタのトマトがようがんのようでしたよかった。(2年)
- ・すごかったのしかった。(3年)
- ・来年も楽しみにしています。(4年)
- ・「気のいい火山弾」をもとにして作った料理。すごくおもしろかったです。
- ・「グッチーナ フェリーチェ」しあわせな味でした。良い時間をありがとうございました。(5年)
- ・グッチーナ フェリーチェ」しあわせ料理の味をわすれないようにしたいです。(5年)

宮澤賢治童話「気のいい火山弾」を表現した料理教室として当日夕方6時のニュースで紹介されました。山梨地方局のテレビ山梨の取材希望があり参加者に承諾を得てうけました。



7・22～7・30木工教室

10:00～14:00 明野子ども美術館にて

失敗しても、その失敗を工夫して、再現することが工作のいいところだと思います。
失敗をいかした作品ができたと思う。(5年の感想文から)

いっしょに作る仲間とたすけあう のこぎりがたのしかった。くぎをいれるのがたいへんだった。(2年)
のこぎりできをきったりしたのが、たのしかった。またいきたい。(3年)
のこぎりをつかっている人がいたら、しっかりてつだうことができた。(4年)

1, 差し金を使って印つけ、線引き

計算してしるしつけをしました。(3年)



力が弱い仲間を手伝う



2, のこぎりで木を切る

切る時に木をおさえてもらう



3, 錐で釘穴をあける 紙やすりでみがく



今日はすごく楽しくて、とくにくぎをうつのが楽しかった。
やすりもたいへんだけど楽しかったです。(3年)

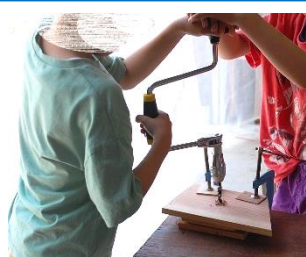
やすりをやってみると、止まらなくなりました。たのしかった。(5年)

4, 玄能で釘を打つ

楽しかったこと☆ くぎをうったこと (4年)
むずかしかったことがくぎうちです。たのしくできて
よかったです。もっとしたかったです。(2年)
つかれました。でもたのしかった。(1年)
おもったとおりにできてよかった。
じかんがけっこうかかった。(3年)
2日間かけたかきがあった。えをうまくかけた。たのしかった。(5年)
1日でノコギリやナイフをつかえるようにできたから、とてもすごいとおもいました。(2年)
初めて一から木材をはかって切って作業をしました。難しかったけど面白かったです。
おもしろかった。たのしかった。大へんだった。むずい、やばい。またいきたい。すごかった。(3年)



(写真の一部を加工しています)



思い描いた形をつくるためナイフ・彫刻刀・くりこぎり・ドライバーなどの道具に取り組む子どもたちもいました。
2日以上参加してじっくり取り組む子どもたちが多く、いつも以上に充実した活動になりました。

記録的な暑さにまけない熱気でした。

手仕事講座のご案内

換気・消毒・間を広く開けて活動します。予約が必要です

北杜市教育委員会 後援

たのしくて、かんたん
織物ものづくり

2024年 3/9(土)

10:00～12:30

毛糸のもよう織や 布の裂き織で



コースター・壁掛け・ポシェットなど

講師 織物グループあや 会場 明野子ども美術館
定員10人 参加費 子ども500円 おとな1000円

木工教室

2024年 3/23(土)～26(火)

10:00～14:00 午前のみ午後のみOK

本箱・CDラック・小物入れなどを、おもいおもいのデザインで、
道具の使い方を学びながら、ぜんぶ自分でつくります。
自由度の高いものは 2日以上かけて作るといいですね。

定員 各日10人 参加費 子ども1000円 おとな2000円

会場 明野子ども美術館

